【記入用テンプレート】赤い文字のボックスと最終ページは、提出前にすべて削除してください

メインタイトル
—サブタイトル（ある場合のみ）—

氏名（所属先）[1]

Keywords: キーワード1、キーワード2、キーワード3

Abstract

Describe the purpose and content of this paper in English within 200 words.

はじめに

原稿の書式はAPAスタイル（第7版）を基本とする。先行研究への言及は、著者名と出版年を括弧で囲んで記載する。和文中では全角括弧（　）を用い、和文献は「姓，年」、欧文献は「Surname, 年」の形で示す。引用例：（近藤，2024，p. 15；Yamanaka, 2020）。著者が2名の場合は、両著者名を記載する。和文献は「後藤・大賀（2025）」、括弧内では（後藤・大賀，2025）とする。欧文献は「Goto and Oga (2025)」、括弧内では（Goto & Oga, 2025）と示す。著者が3名以上の場合は、初出から第1著者名のみを記載し、日本語文献では「他」、英語文献では「et al.」を付ける。和文献は「山下他（2026）」、括弧内では（山下他，2026）とする。欧文献は「Yamashita et al. (2026)」、括弧内では（Yamashita et al., 2026）とする。

1. 先行研究

1.1 注

注は脚注を用いる。

1.1.1 図表

図の場合は、図の下に、表の場合は、表の上に図表番号とタイトルを書く。

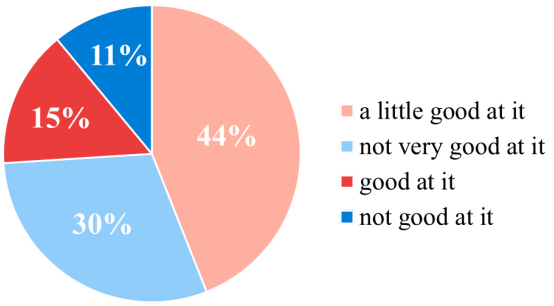


図**1**　図のタイトル

表**1**　表のタイトル

回答	割合
A little good at it	44%
Not very good at it	30%
Good at it	15%
Not good at it	11%

参考文献

山中 司・木村 修平・山下 美朋・近藤 雪絵（2021）.『プロジェクト発信型英語プログラム：自分軸を鍛える「教えない」教育』北大路書房.

木村 修平（2019）. オンライン解説動画を組み合わせた英文法講座の可能性—PEP Parsing Gymのパイロット的実践を通じて—.『立命館高等教育研究』, (19), 265–282.

Chomsky, N. (1965). *Aspects of the theory of syntax*. MIT Press.

Goto, H., Oga, M., Inoue, T., Hattori, T., & Kondo, Y. (2025). From restriction to responsibility: AI guideline development in a project-based English program. *English Language Teaching, 18*(11), 168–180. https://doi.org/10.5539/elt.v18n11p168

【書式設定一覧】このページは提出前に削除してください

■ 用紙・余白　A4縦。上下左右25.4mm（Wordの標準）。1行は約42字。

■ 本文 MS明朝（英数字はTimes New Roman）10.5pt。行間1.0（単一）。段落の最初の行は1字下げ。

■ 行間の設定　ホーム＞段落＞行間で「1.0」。詳細設定で「文字を行グリッド線に合わせる」のチェックを外す。

■ 文字間隔　改ページ位置の調整用。ホーム＞フォント＞詳細設定で文字間隔を「狭く」にする（最大0.7pt）。

■ 図・表・写真　2ページにまたがらないよう、空きや大きさで調整する。URLにはハイパーリンクを設定する。

■ 1行の空け方　1行空ける箇所は、改行（空の段落）で入れる。スタイルの段落前後の空きは使っていない。

■ スタイル　書式は専用スタイルで設定済み。「標準」は本文専用なので、見出し・図表・参考文献などには使わない。

■ 氏名・連絡先　氏名の右肩の番号に対応する連絡先を、1ページ目のフッターに記載する。